



平成28年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成27年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <http://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	15,159	△5.9	2,477	△24.8	5,653	△8.3	4,061	△3.4
27年3月期第2四半期	16,110	4.2	3,293	99.6	6,166	60.4	4,205	76.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △1,578百万円 (-%) 27年3月期第2四半期 5,920百万円 (76.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	38.65	38.50
27年3月期第2四半期	40.30	40.05

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	101,544	94,393	92.8	896.52
27年3月期	115,216	100,672	87.3	957.59

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 94,261百万円 27年3月期 100,591百万円

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っており、1株当たり純資産は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、平成28年3月期(予想)の期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成28年3月期(予想)の期末配当金は55円20銭となります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	5.8	10,000	3.6	14,000	3.2	9,500	0.7	90.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき1.2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、平成28年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	107,723,374株	27年3月期	107,723,374株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,581,504株	27年3月期	2,676,594株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	105,078,432株	27年3月期2Q	104,340,999株

※平成27年10月1日付で、1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成27年10月27日（火）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料の概要については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国の景気減速により輸出は弱含んだものの、雇用情勢や企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

ゲーム業界におきましては、2015年度上半期の国内家庭用ゲーム市場は前年同期を下回ったものの、「PlayStation 4」の販売台数が増加し、新ハードの普及が進みました。また、「東京ゲームショウ2015」では、バーチャルリアリティーを活用した新型デバイスに大きな注目が集まるなど、新たなゲーム体験への期待が高まっています。スマートフォンゲーム市場は、映像表現の高度化やマーケティング費用の高騰に伴い、技術力と資本力の双方が求められて競争が激化していますが、国内外において成長が見込まれております。

このような経営環境下において、当社では経営方針「IPの創造と展開」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。IPの創造では、完全新作「よるのなにくに」(PS4、PS3、PSVita用)が厳しい市場環境の中で力強い立ち上がりを見せました。IPの展開では、アニメの世界観を忠実に再現した「アルスラーン戦記×無双」(PS4、PS3用)など、新たなコラボレーションを開拓しました。これらにより、当社グループの当第2四半期業績は、売上高151億59百万円(前年同四半期比5.9%減)、営業利益24億77百万円(同24.8%減)、経常利益56億53百万円(同8.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益40億61百万円(同3.4%減)となりました。

なお、売上高については、品質向上のため一部タイトルの発売時期を延期したこと等により期初に公表した第2四半期累計業績予想を下回りましたが、ダウンロード販売やロイヤリティ売上などの利益率の高い分野や有価証券関連損益が牽引し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、期初に公表した予想を上回りました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

ゲームソフト事業 売上高 88億73百万円 セグメント利益 16億11百万円

国内では「戦国無双4 Empires」(PS4、PS3、PSVita用)、「アルスラーン戦記×無双」(PS4、PS3用)、「よるのなにくに」(PS4、PS3、PSVita用)などの新作が発売されました。海外では「影牢～もう1人のプリンセス～」(PS4、PS3、PSVita用)、「信長の野望・創造 with パワーアップキット」(PS4、PS3、STEAM用)、「戦国無双4-II」(PS4、PS3、PSVita、STEAM用)をリリースしました。また、当社グループが開発を担当した株式会社バンダイナムコエンターテインメントの「ワンピース 海賊無双3」(PS4、PS3、PSVita、STEAM用)の欧米版が発売され、多くのお客様にお楽しみいただいております。

ダウンロード販売では、「DEAD OR ALIVE 5 Last Round」(PS4、PS3、Xbox One用)の基本無料版累計ダウンロード数が全世界で400万を突破し、コンテンツ販売も順調に推移しました。また、DMM.comにて「影牢～トラップガールズ～」(PCブラウザ用)の配信を開始し、話題を呼びました。

オンライン・モバイル事業 売上高 34億59百万円 セグメント利益 5億61百万円

ソーシャルゲーム事業は、国内では「100万人のWinning Post」をコロプラへ、「信長の野望201X」をYahoo!Mobageへ提供するなど、マルチプラットフォーム展開を推し進めました。また、「100万人の信長の野望」5周年キャンペーンが好評を博すなど、主力の「100万人」シリーズが堅調に推移しました。海外では、韓国でリリースした「大航海時代V」のスマートフォン版が、非常に好調なスタートを切っています。

当社が開発・運営するコミュニティサイト「my GAMECITY」では、引き続きサードパーティーのゲームラインナップを拡充し、会員数が80万人に達しました。

オンラインゲーム事業は、各タイトルとも根強い人気を誇っております。

以上の結果、ソーシャルゲームとオンラインゲームを合わせた総累計会員数は、国内外を合わせて3,000万人を突破しました。

メディア・ライツ事業 売上高 10億97百万円 セグメント損失 88百万円

「ネオロマンス・フェスタ 金色のコルダ Featuring 神南高校 Op. 2」、「ネオロマンス・ライヴ 遙か祭2015」ほか各種イベントを開催し、盛り上がりを見せました。また、女性向けソーシャルゲームも底堅く推移しました。

なお、第3四半期以降に発売を予定しているタイトルの開発費が先行して発生したことからセグメント損失が生じました。

SP事業 売上高 9億64百万円 セグメント利益 3億85百万円

パチスロ機「無双OROCHI」がリリースされました。パチンコ・パチスロ機への液晶ソフト受託開発が順調に進捗し、収益へ貢献しました。

アミューズメント施設運営事業 売上高 6億90百万円 セグメント利益 63百万円

不採算店舗の退店により減収となりましたが、既存店のリニューアルや業務の効率化が寄与し、増益となりました。

不動産事業 売上高 4億16百万円 セグメント利益 1億61百万円

当社グループが保有する賃貸用不動産が堅調に稼働した結果、増収増益となりました。

その他事業 売上高 64百万円 セグメント利益 16百万円

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して136億72百万円減少し1,015億44百万円となりました。これは主に、投資有価証券が89億23百万円、売掛金が43億65百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して73億93百万円減少し71億50百万円となりました。これは主に、固定負債の繰延税金負債が24億76百万円、未払法人税等が20億41百万円及び買掛金が17億円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して62億78百万円減少し943億93百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が56億83百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月30日に公表した通期の連結業績予想は変更しておりません。今後、業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,958	11,131
受取手形及び売掛金	9,734	5,369
有価証券	1,924	2,269
商品及び製品	180	152
仕掛品	14	94
原材料及び貯蔵品	84	48
繰延税金資産	839	730
その他	2,283	2,922
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	27,007	22,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,081	12,911
その他(純額)	6,999	6,926
有形固定資産合計	20,080	19,837
無形固定資産		
のれん	677	484
その他	136	156
無形固定資産合計	813	640
投資その他の資産		
投資有価証券	65,893	56,969
退職給付に係る資産	271	317
繰延税金資産	268	286
その他	880	784
投資その他の資産合計	67,313	58,358
固定資産合計	88,208	78,836
資産合計	115,216	101,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,338	638
未払金	1,014	1,436
未払法人税等	2,849	807
賞与引当金	1,022	916
役員賞与引当金	258	107
返品調整引当金	18	2
売上値引引当金	527	454
ポイント引当金	15	14
繰延税金負債	0	4
その他	2,902	1,645
流動負債合計	10,949	6,028
固定負債		
繰延税金負債	2,873	397
その他	720	725
固定負債合計	3,594	1,122
負債合計	14,543	7,150
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	25,699	25,699
利益剰余金	53,955	53,219
自己株式	△1,735	△1,674
株主資本合計	92,919	92,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,598	1,915
土地再評価差額金	△3,099	△3,115
為替換算調整勘定	2,642	2,702
退職給付に係る調整累計額	531	514
その他の包括利益累計額合計	7,672	2,017
新株予約権	80	131
純資産合計	100,672	94,393
負債純資産合計	115,216	101,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	16,110	15,159
売上原価	9,349	8,945
売上総利益	6,760	6,213
販売費及び一般管理費	3,466	3,736
営業利益	3,293	2,477
営業外収益		
受取利息	912	729
受取配当金	730	1,049
投資有価証券売却益	1,170	1,388
その他	271	625
営業外収益合計	3,083	3,791
営業外費用		
投資有価証券評価損	61	311
有価証券償還損	50	—
デリバティブ評価損	86	48
為替差損	—	201
その他	11	53
営業外費用合計	210	615
経常利益	6,166	5,653
税金等調整前四半期純利益	6,166	5,653
法人税、住民税及び事業税	1,761	1,269
法人税等調整額	199	322
法人税等合計	1,961	1,591
四半期純利益	4,205	4,061
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,205	4,061

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	4,205	4,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,519	△5,683
為替換算調整勘定	200	60
退職給付に係る調整額	△5	△16
その他の包括利益合計	1,715	△5,639
四半期包括利益	5,920	△1,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,920	△1,578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	S P	アミューズメント施設運営	不動産	計		
売上高									
外部顧客への売上高	9,632	3,053	1,178	1,152	838	248	16,104	5	16,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	241	185	5	10	0	—	442	52	495
計	9,873	3,239	1,183	1,163	838	248	16,547	58	16,605
セグメント利益又は損失(△)	2,355	596	159	393	24	12	3,541	△33	3,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,541
「その他」の区分の損失	△33
のれんの償却額	△214
四半期連結損益計算書の営業利益	3,293

(注) のれんについては、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他	合計
	ゲームソフト	オンライン・モバイル	メディア・ライセンス	SP	アミューズメント施設運営	不動産	計		
売上高									
外部顧客への売上高	8,777	3,201	1,096	963	690	416	15,147	11	15,159
セグメント間の内部売上高又は振替高	95	257	0	0	—	—	354	52	407
計	8,873	3,459	1,097	964	690	416	15,502	64	15,566
セグメント利益又は損失（△）	1,611	561	△88	385	63	161	2,695	16	2,711

- （注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。
 2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,695
「その他」の区分の利益	16
のれんの償却額	△193
営業外損益への振替高	△41
四半期連結損益計算書の営業利益	2,477

（注） のれんについては、セグメントごとの配分は行っておりません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他事業」に含まれていた「不動産事業」について重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

株式分割

平成27年7月27日開催の取締役会決議に基づき、平成27年10月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成27年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき1.2株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却し、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	89,769,479株
今回の分割により増加する株式数	17,953,895株
株式分割後の発行済株式総数	107,723,374株
株式分割前の発行可能株式総数	350,000,000株

(注) 株式分割後の発行可能株式総数は、分割以前と同数であり、今回の株式分割における定款の変更はありません。

3. 株式分割の日程

基準日公告日	平成27年9月15日
基準日	平成27年9月30日
効力発生日	平成27年10月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
1株当たり四半期純利益	40円30銭	38円65銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	40円05銭	38円50銭